

第一課 生命の分析・因を知る

生命の科学に関する本講座は、研究を進めるに従い深遠なものとなるでしょう。ここで述べる生命とは、生命の、表現されるあらゆる状態を言います。つまり、我々は生命を探究するのです。宗教的・精神的分野を扱う際、信仰の有無に関わらず妨害されるべきではありません。何故なら神と呼ばれる創造主は、既知のもの・未知のものを問わずあらゆるものを創造したのです。そして、あらゆる創造物の父を知るには、父の創造物と創造された目的を研究しなくてはなりません。人間は創造主の最高の創造物としてその責任を委ねられています。この研究は、創作が個人的には知られていない場合にその作品である有名な絵画を注意深く鑑賞する事と同じです。絵画を深く鑑賞する事によって絵の因である作者のマインド（心）をより深く理解出来るからです。

我々は実物としての宇宙の神・創造主を見る事が出来ません。故に、その創造物を通じて創造主について学ばなくてはなりません。そして創造主はいわゆる自然の中に現われていますが、自然こそ至上なる英知が具体化したも

のです。前述の通り、創造主は全てを包含しているので、一人物としての創造主を我々は見る事は出来ません。しかし現象化された創造物は因なる英知が生み出した結果です。

医師になる為に学ぶ時、人間の目・鼻だけを学ぶのではなく、人体の複雑な部分の全てを学びます。あらゆる神経・筋肉など、その目的と機能についても学びます。人体として表現されているフォーム(形態)を学ぶ時、意識を用いて深く観察する医師もいます。そして結果の内奥にある不可視なもの、すなわち因に気づきます。こうして、あらゆる動脈・筋肉・器官の目的、並びに各器官がいかに全身と関連しているのかを学びます。故に、人体に不調な部分がある場合に処置方法が分かるのです。

我々が自然を理解する為には、これと同じ研究方法に従わなければなりません。この方法によって、我々を取り囲み完全に創造主から分離させた神秘から解放され、我々は因と結果を理解する様になるでしょう。そして、我々の心から成る各感覚器官は、万物とその目的を理解するでしょう。そして、現象の内奥にある因を感知・知覚するでしょう。従って、我々は意識の援助を受け、我々のマインドを^(心)進歩させるだけでなく、同時に意識による知覚も拡大させるのです。こうして、マインドと意識は一体化(融合)すると、我々は創造主に直面するでしょう。これが異星人、即ちスペース・ピープルが成長の為に用いている方法です。

人間のマインド、即ち感覚器官は結果に依存しています。しかし一方、意識は結果を生み出している事を、本講

機能

四次元

英語

座を通して我々は常に忘れてはなりません。意識は無言で印象（フィーリング）として我々に語りかけますが、印象とは神として知られる至上なる存在の囁きの言語です。一方、マインドは結果である言葉として音声で語りかけ

ます。従って、第一課は本講座の中で最も重要です。本講座の全てを通して、あなたは結果のみならず因についても同時に学ばなくてはなりません。今後、本講座を読み進めるに当たり、必ずあなたのマインドと意識の双方を用いる様に十分に気づきながら研究を進めて下さい。それによって、結果の内奥には因と結果が一体となつて存在する事が分かります。因と結果は双方共に好ましい物事を生み出す為に必要です。最初これは簡単ではないでしょう。

それはこれまで我々はマインドだけで学ぶ様に教えられて来た為、想念の奥にある意識・コズミック・インパルス、即ち宇宙のスパイクを認める事が出来ないからです。意識の存在に気づき、あらゆる物事を行なう際に応用すると、理解力を急速に発達させる事が出来るでしょう。そして、十分に意識に気づき始めると、最初はまるで自分が二人存在する様に感じるでしょう。心として活動する自分と意識として指令を出す自分です。

過ちを恐れてはいけません。しかし、あなたが過ちを犯した事に気づいた場合は出来るだけ早く訂正しなくてはなりません。訂正を怠るとあなたの進歩の妨げとなるからです。しかし後悔してはいけません。後悔はあなたを必要以上に用心深くするからです。過ちとは法則の誤用が生んだ結果であり、その体験を通して我々は正しい方法を学ぶという事を常に忘れてはいけません。体験は知識を拡張する為に必要なのです。

我々が分類している善悪どちらであっても、行為は全て完全である事を忘れてはいけません。それは、何を行なうにしても、あなたのマインド・身体・意識が完全に調整される必要があるからです。つまり、行動し体験を積む事によって、あなたは完全な状態へと成長するのです。イエスでさえ多くの不快な体験をし、神殿から両替屋を追い出した時は過ちも犯しました。他人を裁いてはいけないと弟子達に教えていたからです。しかし過ちに気づくとイエスは神殿の前に臥(ひれふ)して父に許しを請いました。現代に生きる我々は更に重要な責任を負っています。古代の人々よりも多くの争いや誘惑にさらされているからです。従って、我々が生まれた目的を理解して成し遂げ様とするのであれば、より強く気づき決意する事が必要となります。

我々は理由、即ち目的があるからこそ生まれて来たという事実間違いはなく、多くの目的と理由がある筈です。これが真実ではなければ人間は存在する必要がない事になるでしょう。人間にとって最大の目的は―宇宙の英知を無限に表現する事―にあると思われれます。それは、他の創造物がそのような能力を持つとは考えられないからです。しかしその為には創造物のあらゆる段階を理解する必要があります。イエスが弟子達に語った―父の仕事―とはこうした生き方を述べたのです。しかしこの生き方をするには、最低から最高に至る迄あらゆる現象を学ぶ必要があります。全てが完全に等しい二人の人間は存在しません。それは各人に授けられている異なる才能が違いを生み出すからです。しかし才能はピアノの鍵盤と同じであり、鍵盤一つ一つの音色を学んで弾くと美しく調和したメロ

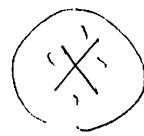
メンタリスト

ディーが生まれ、学ばずに弾くと全く逆の結果になります。故に、我々が用いるべき資質を理解する事によって、自分を理解する為の努力をしましょう。

それでは先ず人間とは何でしょう。一つの結果として人体を見ると、肉・骨・血液により構成されている事が分かります。これは他の動物と同じです。人体は無数の細胞から構成されていますが、肉眼では決してフォームを構成しているものを見る事は出来ません。各細胞はそれぞれ独立し共通の利益とフォームとしての人体を維持する為に他の全ての細胞と調和しています。これは地球上の三十億以上の人間が（1965年当時）人類として一大家族を形成しているのと同じです。ところが、人間は人生における役割を教わっていない為に混乱しています。この混乱は世間全体の秩序からすれば僅かです。そうでなければ地球は大混乱状態に陥っている事でしょう。従って、ここで混乱の原因について調べてみる必要があります。

和歌

一般の人はエゴに支配されているメンタリストであり、エゴとは単に因から生じた結果の一つに過ぎません。そして、マインド（心）は学びの過程にいる為に他の具体的な結果に導かれる傾向があり、しかもマインドの理解していないものは沢山あります。マインドが理解しないものは恐れ嫌われますが、感覚器官、即ちエゴであるマインドが快く感じる物事は好まれます。しかし、好ましい物事が障害となり個人を進歩的な学びから妨げる場合があります。



自然を観察すると、生命は分裂する事なく万物に役立っている事が分かります。そして、人間の自由な意志が、生命の自然な表現から人間を引き離してしまったと考えられます。そこで、我々は第一に、感覚器官からなるマインドの調整をしなくてはなりません。今迄行なってきた^{来た}様な~~な~~マインドは結果を最終的な結論とみなさない様にする必要があります。それには、ある結論に至る迄に結果の生じた理由について忍耐強く分析するのです。個人的な結果であれ、他人または他の生命あるフォームに関わる結果であっても同じです。

ここで、樹木として表現されているフォームを例に樹木の存在する目的を分析します。結果を観察すると、生命ある樹木として、また製品の原材料として多くの面で役立っている事が分かります。幹の部分から採られた木材で有益な製品が生産され、落葉により地面を肥沃にします。樹木から放出されるエネルギー、即ち生命力を見る事は出来ません。しかしそのエネルギーがなければ前人未到の森林地帯に見られる清涼な空気は存在しないでしょう。何故なら、樹木は炭酸ガスを酸素に変換しますが、この作用は生命に必要な不可欠なものだからです。植物は全てこの分野で役立っています。フォームである結果を観察する際に、体液、つまり生命の血液を見る事は出来ませんが、これは樹液と呼ばれるもので、樹木の内部を循環し生命を与えています。又、地中深く存在する根も、地中から樹木へと養分を吸い上げる際の根の働きも目で見る事は出来ません。樹木を形成している細胞群が意志を伝達し合い目的を遂行する為に導き合う声を聞く事も出来ません。これらは結果の内奥に存在する因と言えるでしょう。結果

を見る時には、一体となって表現されている因と結果を同時に見るように訓練しなくてはなりません。フォームとは単に結果を肉眼で認めたものに過ぎません。マインドは意識を通じて因に気づかなければなりません。あなたの目がフォームを見た瞬間に意識はフォームの内部に生命があるという印象をマインドに伝えるでしょう。すると、イエスがそうあるべきだと語った様に、マインドを統一する事になります。マインドでフォームを見る時、意識は因の存在を印象として伝えますが、こうして我々は目に見えるもの・見えないものを同時に見るのです。

例えば紙面に家の設計図を描く場合、あなたは意識からの印象によってマインドに伝えられた最初の結果を描きます。この際あなたは意識とマインドを一体化させ働かせています。意識はデザインが如何にあるべきかマインドに注意を促します。設計図を描き終えてみると、かつての経験に基づく改良点が多く加えられているでしょう。この時でさえ、これまであなたが知る家にはない改良点を意識は示しているのです。これは英知におけるマインドの成長と言えるでしょう。物事の内幕に存在する意識なくしてあなたが成し得る事は何一つありません。

結果の善し悪しに関わらず、あなたのマインドは受けた印象を変更、又は修正する可能性があります。これは、マインドの持つ英知、つまり如何に的確にその印象を感受出来るかによります。好ましい結果を得るには、マインドが意識を完全に信頼し、意識の指令に従う事を認めなければなりません。

ところで、あなたは盲目的信念に従うのは嫌だと思いかも知れませんが、マインドの奥底から可能だと感じる事

を成し遂げるには、盲目的信念に従わなくてはなりません。では盲目的信念とは何でしょう。家を設計している時、あなたは盲目的な信念を用いていたのです。なぜなら、家は未だコンクリートや壁土で仕上げられた建築物として存在しているわけではないからです。あなたが生活する上で行なう事は全て、盲目的な信念を持って行なわれます。どんな行為でも結果がどうなるかは分かりません。歩くにしろ乗り物に乗るにしろ、何を行なうにしても順調に行く事を願って行なわれますが、確実ではありません。生活の99パーセントを我々は盲目的な信念に依存しているのが現実です。残る1パーセントは過去の経験に頼っていますが、同じ事を繰り返しても結果が同じであるとは限りません。

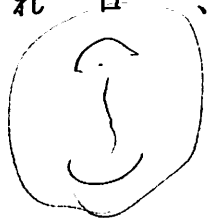
信念はあらゆる現象の基盤です。信念を持たない人は羅針盤や船長の欠けた船の様なものです。ひとたびあなたのマインドが信念を信頼すると、意識の指導を信頼する事になって、意識とマインドを一体化させて働かせる事になります。そして、因、即ち神の意識と、結果、即ち人間のセンス・マインドは一体となります。そして生命に関する最大の神秘は解明されます。

では意識とは何でしょう。意識とは万物の創造主、即ち生命力であるという事以外解明されていませんが、意識がないと、人間は生命ある存在でなくなるでしょう。意識を最も分かりやすく言い換えるならば、人間においては目覚めている状態と言えます。そして目覚めている状態とは、フィーリングを感じている状態、即ち気づいている

状態です。動物においては、音響に頼る必要のない本能として知られています。意識の言葉は創造主の言葉であり、未だ経験していない物事について感知（知覚）し始める時に感じるものです。イエスはこれを―見聞きせず信じる者は幸いである。彼らは天国に入るだろう―と表現しています。天国とは因の領域・意識、即ち永遠なる生命の海を表わします。何故なら意識はあらゆる現象を生み出すからです。

いうまでもなく我々は皆、加工前のダイヤモンドの様なものです。後にダイヤモンドになる原石を最初に発見した時、視覚的には只の石に見えるだけでしたが、発見者の内部から何かがこの石は他の石とは違うと囁いたのです。マインドではなく発見者の意識が、この石をカットし研磨すると、かつて見たこともない様な最高に美しい石になるといふ事実を囁きました。その石は想像を絶するあらゆる色光を放ちます。しかしそれには忍耐と多くの試練が必要とされ、鋭利な刃で削られる時には苦痛さえ伴う場合があります。人間は皆いわばダイヤモンドの原石であり、自己の純度を見つけるには、削り取らなくてはならない多くの粗い面があります。削り取る作業は何れも楽なプロセスではなく、大抵何らかの苦痛が生じます。しかし多くの苦痛に耐える程、石の輝きは増します。磨き上げられたダイヤモンドは、表面に刻まれた各小面から純粋な輝きを反射するでしょう。そこに宇宙の周波数 (Frequency) が十分に表現されるのであれば、不完全さは何一つ存在しません。

生活のあらゆる分野における人間の思考の習慣は、過去と現在の教訓に関連したものであり、削り取らなくては



ならない粗い部分です。他の部分よりも削り取る事が困難な部分もありますが、目的を伴う決意が望ましい結果をもたらします。そして、初めは受け入れ難く不快であろう輝き、即ち新しい習慣が確立されます。しかし、新しい習慣全てが定着すると、それまで人間として知られていたフォームを通じて神の栄光が現れるのです。転がる石に苔は付かないと言われて来ました。しかし物を蓄積させる事を苔に例えますが、これは宇宙の英知の中における人の成長を妨げて来ました。しかし転がる石は諸問題に直面し、他の岩に衝突して磨かれ、不必要な破片が取り除かれます。人間の持つ素晴らしい能力の真の美は苔で覆い隠されています。苔の他には何も見えませんが、それは人間の真の姿ではなく、フォームである身体の上で生きる寄生植物の姿です。

苔は人間の持つ習慣に相当するもので、真の人間の姿を覆い隠しているのです。転がる岩は、多くの問題や大きさが倍もある岩に衝突し、苦痛に耐え、衝撃で欠けながらも転がり続けます。そして、精巧に磨かれ、遂に成分である無機物本来の姿と色光を現わします。親和の法則に基づき鉱物が互いに結合し、美しいデザインが形成される場合もあります。この状態に至るには長い年月が必要かもしれませんが、忍耐と決意によって、人間は自分の美を絶え間なく増す純度の中に表現する事が出来ます。そして神の国の救世主となるのです。

生命を探求する人が最初に為すべき事は、因と結果について絶えず気づく様にマインドを習慣づける事です。すると、マインドはこれまでの様に単にフォームを視覚だけで見るのではなく、意識が明かすフォームを支える不可

視の存在を認める様になります。これは視覚では見る事の出来ない車の動力発生部の働きを十分に気付いて運転する様なものです。

本講座をただ読むだけでは価値はなく、日々刻々の実行が結果を生み出すでしょう。講座に関する疑問があれば書き留め、今後の講座の中に答えが見つからない場合は私宛に質問を送ってください。

(ジョージ・アダムスキー氏は1965年に他界)